

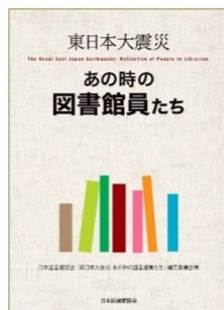
静岡図書館友の会 会報

2020.4
Vol. 23

図書館で伝えていくもの

『東日本大震災 あ那时的図書館員たち』

今年、2020年3月11日に、『東日本大震災 あ那时的図書館員たち』（日本図書館協会）という本が出版されました。東日本大震災当時、岩手、宮城、福島の図書館で働いていた人たちの体験記が収録されています。震災から9年が経ちました。すでに当時の職場から離れてしまっている人や、退職した人もいます。そのような人たちが、日本図書館協会の呼びかけに応じて、当時のことを伝えてくれました。編集委員の一人として、この本を作るお手伝いをさせていただきました。当時の事を思い出したくないという人もいる中で、この本のために体験記を書いてくださった方々に、心から感謝しています。図書館員たちの体験が1冊の本という形になり、図書館で伝えていくことができます。



編集作業で過去の記録を確認する中で、忘れていたことをいくつも思い出しました。あの大きな地震があったとき、私は職場である福島県立安積黎明高校図書館にいました。校舎の三分の二が地震の被害に遭った学校です。学校で授業中に被災しましたが、生徒たちは全員無事でした。後日、友人宛のメールに、当日のことをこんなふうに書いていました。

「吹雪の中、校庭に避難しました。学校の壁が崩落。図書館では書架が倒れ、本が飛び出し、足の踏み場もありません。パソコンがいくつも机から落ちました。停電のため、学校では、懐中電灯やトランシーバーを使いながら、生徒たちが無事帰宅できるまで、見送りました。電車が動かず、職場から40キロ以上離れた自宅まで帰るのに時間がかかり、自宅では停電と断水。被災した日の夜は、携帯もつな

福島県立図書館
司書 鈴木 史穂



がらず、ラジオだけがたよりでした。暗く、寒い夜、日の出を待ちわびました。」

震災への支援 うれしかった図書館の支援

多くの方が被災地を支援し、被災者を応援してくださいました。2011年9月に、たまたま見た富士市立図書館のホームページで、「中央図書館で福島県地方紙が読めます。福島県の地方紙を避難者の方が読めるように『福島民報』と『福島民友』を御用意しています。」と書かれたメッセージを見つけて、思わず泣いてしまったことを覚えています。震災後、福島から国内全都道府県にたくさんの人が避難しました。避難した福島の人たちは、「福島」の状況を知りたいという思いがとても強かったと思います。そこで支援してくれていた図書館があったのです。福島の地方紙を取り寄せ、福島の状況を、避難している人たちに知らせるとともに、その地域の人たちにも伝えてくれたのです。日本図書館協会を通して福島県の地方紙を提供してくれている図書館があることは知っていましたが、ホームページのトップページで、本来なら地域住民の方々へのメッセージが掲載される場所に、避難している福島の人たちへのメッセージが掲載されていたことに、感激しました。ほかにも、たくさんの方から様々なかたちで応援していただいています。

震災後、私は本を読むことで、慰められたり、反省したり、前向きになれたり、勇気がでたりしました。

私は現在、福島県立図書館で司書として働いています。図書館を訪れた人が、さまざまなメッセージが込められた本と出会うことができるように、これからも努めていきたいと思っています。

鈴木史穂さんの『3・11と福島の図書館員』（仮題）の講演会を8月に予定しています。お楽しみに！

（編集部）

総会中止と講演会延期のこと



静岡図書館友の会代表 田中 文雄

この度は2020年度の総会を中止にし、ドリアン助川氏の講演会を延期しました。一年に一度の総会と講演会を楽しみに下さっている会員の皆様にお詫び申し上げます。

当日の2週間前までは当然開催するつもりで総会資料も作成し、殺菌消毒液、マスクを準備しておりました。しかしながら、新型コロナウイルス関連のテレビ報道は緊迫感が増し、全校休校や行事中止等の事態となりました。そこで、参加される皆様の健康を第一と考え、講師の了承も得て運営会議で中止を決めました。

総会は会員が一堂に会し、昨年度の事業報告、決算、今年度の事業計画、予算を中心に審議を

する場ですが、今回は特例として運営会議で議決することにし、3月7日、もくせい会館で臨時運営会議を開き議決しました。

講演会は参加下さる方に平穏な状況で安心してお話を楽しんでいただけるよう、**12月20日(日)に札ノ辻クロスホール**で開催することといたしました。次号の会報で詳しくお伝えしますが、本号の8ページにお知らせを掲載しましたのでご覧ください。

以上大変遅くなりましたが、会員の皆様にご報告をいたします。なにとぞご了解のほどよろしくお願ひ申し上げます。

2019年度 事業報告

全
体

- ① 第11回総会・講演会 椎名誠氏 「本の夢 本のちから」
- ② 鈴木静岡県教育部長と面談し、知事あて要望書を提出
- ③ 会員との交流・親睦会・・・参加希望者少数のため中止
- ④ 第22回静岡県図書館交流会
静岡県図書館交流会実行委員会・新たな静岡県立図書館を望む会との共催
「法から見たこれからの図書館」 鎌水三千男氏
- ⑤ パンフレット「移管はイカン・・・？」の作成、配布
- ⑥ しずとしょフェスタ「みんなで楽しむ日曜日の図書館」 静岡市立中央図書館との共催
おはなし会、移動図書館車展示、対面朗読、録音図書づくり体験、
映画「イーちゃんと白い杖」上映&解説、フィルムコートかけ体験、図書館ツアー

学
ぶ
活
動

- ① 市政出前講座
「統計からみる静岡市の今とこれから」
- ② 図書館見学会
静岡県立大学短期大学部附属図書館&学園祭

広
める
活
動

- ① 静岡市長選立候補者へ公開質問状を提出、回答を公開
- ② 「静岡図書館友の会10年の歩み」の作成・配布
- ③ 会報の発行 21号(4月・創立10周年記念号)、22号(9月)
- ④ ホームページ随時更新

支
える
活
動

- ① 図書館充実のための働きかけ
図書館協議会委員他関係者への資料提供
静岡市図書館協議会、県・市議会傍聴
- ② しずとも基金より市立図書館への図書・雑誌の寄贈(497,402円)
- ③ 「図書館友の会全国連絡会」等全国組織と県内図書館友の会との連携
- ④ ブックリサイクル、古本市への協力

2019しずとしょフェスタ



「イーちゃんの白い杖」上映会&橋本監督による解説

おはなしフェスタ



あさはたお話の会



ねこバス

静岡おはなしの会



移動図書館車



図書館ツアー

市政出前講座 統計からみる静岡市の今とこれから



14名の参加がありました



ひびきの会 音訳作業体験



フィルムコートかけ体験

2020年度 事業計画

全体

- ① 第12回総会中止、講演会(ドリアン助川氏)は延期(新型コロナウイルス対応のため)
- ② 新しい静岡県立中央図書館にかかわる活動

学ぶ活動

- ① 図書館セミナー1
講演会 福島県立図書館司書 鈴木史穂氏 (仮)「3.11と福島の図書館員」
- ② 図書館セミナー2
図書館見学会
- ③ 市政出前講座

広める活動

- ① 会報の発行 23号(4月) 24号(9月)
- ② ホームページの随時更新

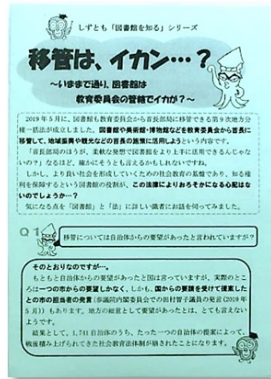
支える活動

- ① 図書館充実支援のための働きかけ
- ② 静岡市立図書館への図書の寄贈
- ③ 「雑誌スポンサー制度」へ協力し、雑誌を寄贈
- ④ 「しずとしょフェスタ」静岡市立図書館への協力
- ⑤ 会員活動への支援・協力
- ⑥ 「新たな静岡県立図書館を望む会」等他の図書館関連団体との協力
- ⑦ 文化活動への協力 静岡市美術館の赤羽末吉原画展(仮)への協力
- ⑧ 市民団体活動への協力・支援・後援
- ⑨ ブックリサイクル、古本市への協力

「新たな静岡県立図書館を望む会」の報告

昨年3月に「一日も早い開館」「教育委員会による直営体制」「基本計画の中で直営の根幹業務に挙げられている『選書、レファレンス、市町図書館支援』に『来館者サービス業務』を加える」「資料費増額と専門職員の増員」の4点について要望書を県に提出しましたが、今年度の今までの動きは下記のとおりです。

2019年8月 「図書館は首長部局に移管できる」とした第9次地方分権一括法の法制化を危惧し、識者へのQ & A方式による「移管はイカン・・・？」のパンフレットを作成し関係者に配布。



2019年12月 本議会の天野一議員の質問に「静岡県は今まで通り図書館は教育委員会の直営で運営」との木苗教育長の答弁があった。

2020年2月 「文化力の拠点」計画のうち図書館以外の民間施設を一旦白紙に戻すという県の発表があり、新県立図書館の調査費に2,300万円の予算が付く。

2020年3月 県議会各派の他県県立図書館視察に参考にしてもらうため、以前発行した「県立図書館見学マニュアル」と国内県立図書館状況をまとめたデータが掲載されている冊子の一部を、版元のアカデミック・リソース・ガイド株式会社のご厚意でコピーして県議会議員全員に配布。

2020年3月 今後の参考にするために、市町の図書館に県立図書館についてのアンケートを実施。

静岡の図書館はこんな対応をしています

全国では閉館してしまった図書館もありますが、静岡市立図書館ではいろんな策を講じながら利用者の知る権利を守っています。なかでも子ども向けの下記メッセージは注意を促しながらも利用者寄り添う姿勢が共感を呼んでいます。



密着しない様椅子を離しています



小・中・高校生のみなさんへ (前略)

図書館は現在開館していますが、多くの方が来館する施設です。手指の消毒や手洗い、マスクの着用や咳エチケットをお願いしていますが、子どものみなさんはできるだけ家で過ごすことを、学校の先生も勧められています。

みなさんの日常に図書館があることを職員一同ともうれしく思いますが、まずはみなさんの健康・安全を第一に考えてください。

図書館でたくさん本を借りて、この期間はぜひ自宅でゆっくり読書を楽しんでください。

みなさんの元気な姿で図書館がまたいっぱいになる日を、職員一同、楽しみにしています。

また、図書館でお会いしましょう
静岡市立図書館 職員一同より



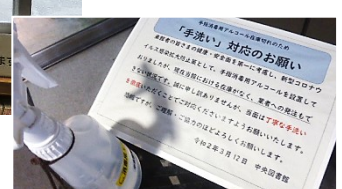
静岡県立中央図書館でも同様の対策をとったうえで、ホームページにて下記を公開しています。

- ・静岡県内市町図書館の臨時休館状況
- ・新型コロナウイルス感染症に関する最新の情報(企業向け・個人向け、助成金、相談窓口案内、トラブル事例、多言語での発信など)のリンク集

※静岡県立中央図書館HP
<https://www.tosyokan.pref.shizuoka.jp/>



常に窓を開けて換気します



手洗いとアルコール消毒を促します

※状況が変化しますので行事等の中止情報は静岡市立図書館HPをご覧ください。



一箱古本市に思う

しずおか一箱古本市実行委員会 伊藤 清美

この原稿を書き終えようとしている今、日本では、新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化し、5月に予定されている「しずおか一箱古本市」の開催も危ぶまれています。こんな時にこの原稿を書くことにためらいもありましたが、こんな時だからこそ、その意義を考えることに意味があるのではと思います、書かせていただきました。



「一箱古本市」をご存じですか。本好きが一箱分の古本を持ち寄って、一日古本屋さんを開くという、誰でも参加できるイベントです。2005年に不忍ブックストリートで始まりましたが、あっという間に全国に広がっていきました。静岡でも2015年秋に初めて開催され、その後春秋の年に2回、フリマ「鷹の市、駿府市」の中で行われています。この5月には9回目となります。

では、なぜこのイベントがそんなにも広がりを見せているのでしょうか。楽しいからの一言に尽きます。古本屋として売る方も楽しいし、買う方にも本屋さんや図書館では見つけにくい楽しさがあるからかと思えます。

前回もこんなことがありました。出店した私が須賀敦子の本を何冊か並べていたら、若い女性が「私、須賀敦子さん大好きなんです。でも周りに彼女のこと知っている人がなくて・・・」と言って、ひとしきりいろいろな作品について語っていらっしゃいました。結局そこにあった須賀敦子の本は全部持ってるからといって、隣にあった庄野潤三の本を購入して下さいました。私の方からは庄野の「山の上の家」に行くと、須賀が庄野に贈った「リッカさんの木」というのが今でも植えられていて・・・という二人の関係について話をさせていただいたのですが。

売る方は、どんな本を箱に詰めようか？ どんなラインナップにしようか？ あれこれ悩みます。どんなお客様が来て下さるだろうか？ あのお客様は今回も来て下さるだろうか？ 一緒に参加するあの出店者さんはこの本持って行ったら喜んでくれるだろうか？（本好きの出店者さんの集まりですから、なぜか売った本より買った本の方が多くなってしまったというのは、よくあ

る話です。）お客様の顔を思い浮かべ（想像し）ながら箱に詰めていくのです。

当日は、お客様の様子を見ながらおずおずと(?)声をかけます。もちろんお客様の方から声をかけて下さることもよくあります。そして会話が始まってしまえば好きな本のこと、話はどんどん広がります。よく知らない作家さんや本のことが聞ける刺激的な時間にもなります。

このように一箱古本市は、まず「本との出会いの場」であります。ラインナップや並べ方により、ジャンル別やあいうえお順に並んだタイトルだけでは見つからない発見があるのです。そしてそれが「本を通じて人と出会える場」になっていきます。お互いの顔を見ながら、好きな本について気軽に語りあう場はそうはありません。かつてあった街の本屋の店員さんとの会話も現在では殆ど望めません。図書館には司書さんがいらして本の世界を広げて下さいますが、閲覧室で思いっきり話すことは難しいでしょう。ですから、一箱古本市が図書館や本屋さんにはない魅力を保ちながら、図書館や本屋さんにはない、皆さんの本の世界を広げていけたら嬉しいなと思っています。また、「しずおか一箱古本市」では、「お店でも小箱古本市」として鷹匠、駿府町のお店の何軒かにも本箱を置いていただき、お客様にお店巡りをしながら、本を見て頂くことも行っています。このことで、鷹匠、駿府町の方々には本当に支えて頂いていることが実感できましたし、お店の方々にも本を置くことの面白さを見つけて頂くこともできました。こうした人との出会いから、本という文化を大切にしていきたいという思いが広がっていくような役割を、一箱古本市が果たせたら嬉しく思います。

~~第9回 しずおか一箱古本市
日 時：2020年5月23日(土)10:00~15:00
会 場：【駿府町会場】北街道 駿府町商店街「水曜文庫」向かいのあたり
【鷹匠会場】「鷹匠 あん」駐車場
関連イベント：「お店でも小箱古本市」鷹匠・駿府町のお店で開催
・どなたでもご出店いただけます。募集開始は3月中旬の予定
・HPをご覧ください。 <https://hitohakosiz.wixsite.com/mysite>
■ 新型コロナウイルス感染防止のため、5月の一箱古本市は中止となりました。 ■~~



図書館から こんにちは

「今川さん図書館カード」が 仲間入りしました!!

静岡市立中央図書館 サービス係長 田中 邦子

静岡市立図書館の図書館（貸出）カードをお持ちの皆様は、今どきのデザインのものをお持ちでしょうか。富士山・駿府城・帆船が描かれた青いカードをお持ちの方と、天女の羽衣がデザインされたカードをお持ちの方がいらっしゃるはずですね。

今回、この図書館カードに新しい限定デザインのカードが誕生しました！

静岡市立図書館では、今川義元公をモデルにした地元の人気キャラクター「今川さん」を使用した新しい図書館カードを令和元年12月から限定1万枚で発行しています。新しくカードを作成する際に、今までのカードと今川さんカードのどちらか好きな方を選ぶことができ、12月の1ヶ月だけで1000枚以上が発行されました。予想以上の反響に企画した私たちもとても嬉しく感じています。

この「今川さん」、静岡在住のイラストレーター「東京モノノケ」さんのデザインによるもの。

「今川義元公生誕五百年祭」もあり、郷土資料のPRと主に子どもたちへの読書推進を目的として作成しましたが、「今川さん」を嬉しそうに選んでくださるのは案外大人の方が多いかも…。逆に海外から静岡にいらした方はほとんどが「富士山！」と仰って通常のカードを選択されます。やはり富士山の魅力は大きいのでしょうか。

今すでに図書館カードをお持ちの方も、再発行扱いで100円をお支払いいただければ今川さんカードへの変更も可能です！よろしかったらぜひ図書館へお越しください。



市内図書館 ニュース

静岡市立中央図書館の 大規模改修工事について(お知らせ)

静岡市立中央図書館 副館長兼管理係長 前田 利彦

中央図書館は昭和59年7月に開館し、現在に至るまで多くの方にご利用いただいておりますが、築35年が経過し電気・機械設備等の更新が必要となっています。これからも長期に渡り安心・安全にご利用いただくために、令和2年の秋から令和3年夏前頃まで休館し、大規模改修工事を行うことを計画しております。

主な工事内容ですが、設備機器の更新の他、耐震性強化のためのガラスフィルムの張付け等を実施し安全性を向上させます。また、リニューアル感のある工事として、床や壁等の張替え、LED照明への付け替え、城北公園を見ながら読書

ができる閲覧席の増設、トイレの洋式化、乳幼児用トイレや授乳室の新設等も予定しております。

休館中は市民サービスの低下を最小限に抑える対策も検討しておりますので、詳細が決まり次第、順次お知らせをさせていただきます。皆様にはご不便やご迷惑をお掛けすることと思いますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。



県立短大附属図書館見学会報告

静岡図書館友の会会員 北川 光雄

2019年11月9日（土）に「県立短大の附属図書館見学&学園祭の両方を楽しむ会」が行われました。参加者10名は、まずグループ閲覧室で図書館長小林佐知子先生（こども学科）のご挨拶のあと、鈴木由美事務長補佐（静岡図書館友の会会員）から図書館の一般的なガイドをうけました。その後、ツアー開始、質問など会話を交えながらの見学です。明るい館内は閲覧席100席、きれいに整理された開架式書架は温もりのある木目の素材で、スチール材と異なる清楚な雰囲気です。書庫も含めて14万冊の蔵書とのこと、視聴覚室のビデオ、書棚には楽しい絵本、音楽や楽譜コーナーなど多く配架され、さすがこども学科をもつ短大図書館の風景でした。書庫も含めて耐震構造にも留意されているとのことです。

選書は教員の委員会からの要望と学生の希望図書によって行われます。教員はどうしても専門研究書に偏りがちなので、学生の選書がそのバランスを保たせています。静岡県立大学は草薙と

小鹿にキャンパスがあるので、その2キャンパス合同で学生選書ツアーが実施されます。学生は決まった日時に静岡駅前の戸田書店に出かけて本を選び、それを図書館スタッフが確認して受け入れをする仕組みです。そして学生選書コーナーも設けられています。学生と本との距離を縮める有効な試みを知る思いです。図書館の課題としては2キャンパス、多彩な学部と学科をもつ大学図書館の運営と調整機能の構築などがあげられました。

短大は橘花祭という学園祭の最中でした。模擬店で豚汁をいただきながら、図書館と学園祭の両方を楽しんだ有益な時間を一同感謝したことでした。



『あいうえあそぼう としよかんで』

草谷桂子 文 スギヤマカナヨ 絵
2019.10 子どもの未来社

図書館初心者の子どもたちにピッタリな絵本。カルタ仕立てになっていて、「あ」のカードから「ん」のカードまで読んでいくと、図書館がどんな所なのか良くわかります。さらに、巻末の「もっと知りたいあなたへ」で詳しい説明があるのも嬉しいことです。より、図書館の機能や魅力を知ることができます。

文は、長い間、図書館や家庭文庫に関わってこられた草谷桂子さん。そんな彼女ならではの優しい目線で書かれていて、図書館や子どもたち

への愛が伝わってきます。絵は『ぼくのおべんとう』でおなじみのスギヤマカナヨさん。



カルタに合う魅力的な絵です。お二人共、静岡県生まれ。県民の一人として、誇らしい気分です。そして、なんとコピーしてカルタが作れる！しかも、縮尺率まで載せてある。なんて親切なのでしょう。さっそく作って、5歳の孫と遊びました。みなさんも作って楽しんでみてはいかがでしょうか。



本を贈る

ほっとコーナー



静岡図書館友の会運営委員 浅井 康子

本を贈るって ということだろうか。
 考えてみる。
 私は 子どもが生まれたとき
 周囲の方からお祝いはいかにいいかと聞かれると、
 決まって
 『絵本をいただきたいです!』
 と、答えてきました。
 贈り主さんが子どものためにと
 選んでくれた時間を想像し、
 絵本の包みを開けた時、
 こどもと一緒に読んでいる時、
 とても嬉しくて
 読後、感謝しながら贈り主さんに
 思いを馳せることができたから。
 印象深かったのは
 父からもらった絵本。
 私が幼い頃は、
 静かに歩けだの、
 バタバタ、ドンドンするなどの、
 エネルギーだらけの子どもの動きが
 苦手だった父はガミガミ細くて、
 インドア派の父とは一緒に
 身体をいっぱい動かして遊んだ経験もなく、

つまらないなあ・・・と
 子ども心に寂しさを感じていたのだけれど
 その父が孫に初めて贈ってくれた絵本は
 谷川俊太郎×元永定正の
 『もこもこ』 『がちゃがちゃどんどん』
 渡辺茂男×長新太の
 『キウイじいさん』
 だったりして
 父の印象と真逆の選書。
 こんなに本能的な本や、ナンセンス本を
 選書してくれるとは微塵も思わなかった私は
 意外性にびっくりして、でも嬉しくて、
 子どもと一緒に
 デカイ声とリアクションで
 『がちゃがちゃどんどん!!!』
 できなかった自分のぶんまで
 大いに楽しんだのでした。

本を贈るということは、言葉にできないニュアンスを
 やわらかく、そっと伝える
 コミュニケーションツールなのかもしれませんね。

ドリアン助川氏の講演会 延期



新型コロナウイルス対策のため、
 下記に延期しました。(P.2参照)

『私たちはなぜ生まれてきたのか』

2020年
12月20日(日)
 14:00～15:30(予定)
 札ノ辻クロスホール

来年総会時の講演会講師は
アーサー・ビナード氏に決定!

『細胞が好む言葉・
 ウイルスが好むコトバ』

2021年
3月6日(土)

静岡県総合研修所
 もくせい会館1階 富士ホール



静岡図書館友の会会報 No.23 2020.4
 静岡図書館友の会 代表 田中 文雄
 連絡先:(事務局携帯) 080-6910-9434
 Eメール:sizutomo2008@yahoo.co.jp
 HP:http://shizutomo.sakura.ne.jp/
 会員数: 218人 (2019.12月現在)

編集後記

- ・ 伝染病が猛威を振るい、たくさんの不安を抱えています。でも、これまで忙しすぎて後回しになっていたことにじっくり取り組むいい機会にもなりました。前向きに考えながらこの時が過ぎるのをじっと待ちます。(N.S)
- ・ コロナ問題では「日本だけ何で検査件数が少ないの」とか「全世界にマスク2枚配布?」とか、腑に落ちないことがたくさんある。政府がどのタイミングで何をし、何をしなかったのか、厚労省は何をしていたのか、後世の教訓のために後々しっかり検証しなければならないと思う。(H.I)